

かすや 議会だより



No. 167
2023年
2月6日発行

12月
議会号

「長者原下区 3年ぶりのもちつき大会」
表紙関連記事は最終ページへ

委員会レポート P6~P9 ・ 町政を問う一般質問 P10~P15

定例会ピックアップ

12月定例会は12月2日から12月12日までの11日間での会期で開催されました。

1 地球温暖化対策実行計画協議会の設置に向け条例が改正されました

2050年「ゼロカーボンシティかすや」を実現する計画の策定と実行のため、附属機関設置に関する条例に、「粕屋町地球温暖化対策実行計画協議会」が追加されました。今後、協議会の要綱の制定、委員の選考を経て、具体的な計画が策定される予定です。

2 仲原川河川改修（鋼矢板護岸）工事契約が変更されます

6月議会で議決した工事ですが、土留めのための鋼矢板を打ち込むクレーンの規格変更と急激な物価変動による工事材料の高騰により工事金額の変更が生じました。
当初の金額……8007万円
変更後の金額…9338万円(1331万円の増)

議会の意見

50tクレーンから倍の100tクレーンに変更となった点について、入札前に専門的知見から職員間での十分な議論がなされたのか、また議会への説明不足、職員の異動に伴う引継ぎ不足があった点を考慮し、専門性を持った職員の雇用・育成、職員間の十分な引継ぎを行うよう意見を付したうえ可決しています。

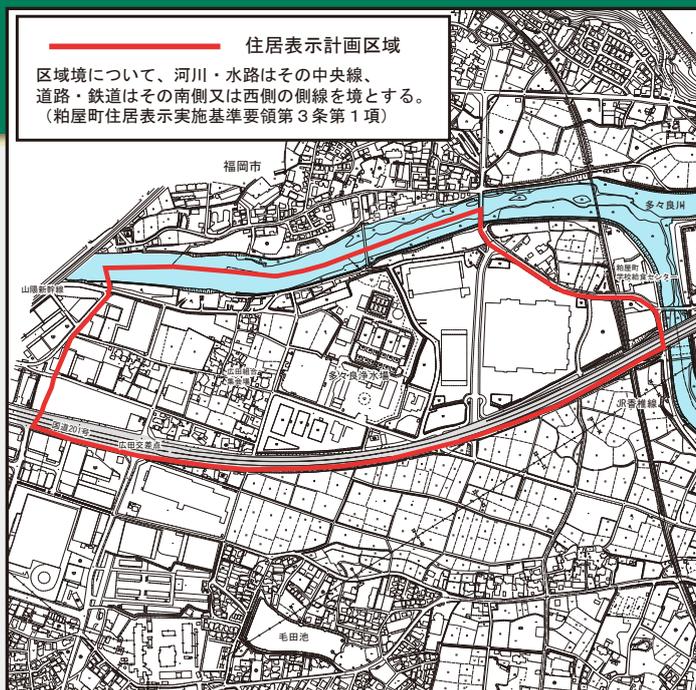
3 戸原広田地区で住居表示のための準備が進められます

平成17年から始まり、これまで13地区で実施されてきた住居表示ですが、今回は戸原広田地区で実施されます。

新しい住所は令和5年9月上旬開始予定です。



粕屋町議会
イメージキャラクター
「かすカモ」



令和4年度

一般会計補正予算 (第4回)

3億7029万円を増額 

総額 226億6614万円

ときめき体験事業本研修の中止に伴う青少年育成事業費の減額がありましたが、ふるさと納税寄附金の増加による基金積立などの増額、障がい者・児の利用増加に伴う福祉サービス事業費などの増額のほか、新たな乳幼児への新型コロナウイルスワクチン接種に伴う事業費の追加により、補正予算3億7029万円を可決しました。

主な歳出予算のみピックアップ

- 青少年育成事業費(ときめき体験事業)の減額……………▲724万円
- ふるさとづくり基金積立の増額…………… 7983万円
- ふるさと納税業務委託料の増額…………… 8018万円
- 障がい福祉サービス事業費の増額(利用者の増加) 1億2910万円
- 町営住宅管理運営事業費の増額
(町営朝日団地の建て替えなど)…………… 1214万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増額
(乳幼児へのワクチン接種)…………… 1302万円

令和4年度

一般会計補正予算 (第5回)

8610万円を増額 

総額 227億5224万円

出産・子育て応援交付金を創設

国は、市町村が妊娠期から出産子育てまで一貫して相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援と経済的支援を一体的に実施する事業のため、「出産・子育て応援交付金」を創設しました。

粕屋町では、妊娠届け時に5万円、出生届時に5万円の現金での経済的支援を行うことになり、補正予算8610万円を可決しました。

一目でわかる審議結果

令和4年12月定例会に提出された議案は15件です。

議案番号	採決結果	賛成(人)	古家昌和	田代勸	杉野公彦	宮崎広子	末若憲治	井上正宏	案浦兼敏	鞭馬直澄	川口晃	福永善之	田川正治	久我純治	本田芳枝	山脇秀隆	安藤和寿	小池弘基
63	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	14	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
64	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	14	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
65	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決	14	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
66	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	職員の定年引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	14	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
68	附属機関設置に関する条例の一部改正 (粕屋町地球温暖化対策実行計画協議会の設置に伴う改正)	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	令和4年度 一般会計補正予算(第4回)	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	令和4年度 国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
71	令和4年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
72	令和4年度 介護保険特別会計補正予算(第2回)	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	令和4年度 水道事業会計補正予算(第3回)	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	工事請負契約の変更 (仲原川河川改修(鋼矢板護岸)工事)	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	住居表示を実施すべき区域と住居表示の方法 (戸原の一部)	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会 規約の一部変更に関する協議	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	令和4年度 一般会計補正予算(第5回)	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は採決に加わりません

○⇒賛成 ●⇒反対 ー⇒退席 欠⇒欠席

右のQRコードより採決の様子を動画でもご覧になれます。



令和4年第3回臨時会 10月18日開催

一般会計補正予算(第3回)

3億4763万円を増額  総額 222億9585万円

エネルギー価格高騰対策支援、電気・ガス・食料品等高騰緊急支援などの対策のための補正予算3億4763万円を可決しました。

●エネルギー価格高騰対策支援事業(中小企業者等)……………1億738万円

- 対象 粕屋町に主たる事業所を有する中小企業者および小規模事業者
- 内容 10万円×720法人事業者 5万円×680個人事業者

●価格高騰緊急支援給付金給付事業……………2億650万円

- 対象 電気・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえて特に家計への影響が大きい低所得者世帯
- 内容 住民税非課税世帯等およそ4000世帯に各5万円

●物価高騰対策支援事業

物価高騰の影響を受けている以下の事業者に対する支援

- 障がい福祉サービス事業者……………700万円
- 介護サービス事業者……………580万円
- 医療機関等……………1302万円

●物価高騰による運営事業支援

- 私立・町外保育施設等運営事業……………418万円
- 学校給食センター管理運営事業……………376万円

●学校給食費負担軽減事業(給食費の減免)……………▲7004万円

交付金を活用し、3か月間給食費を無償とするため給食事業収入を減額します。

- 小学生総額 ▲4399万円(4300円×3か月×3410人)
- 中学生総額 ▲2605万円(5200円×3か月×1670人)

一目でわかる審議結果 < 令和4年10月臨時会に提出された議案は2件です。 >

議案番号	◎議案名はわかりやすい 文言に置き換えています	採決結果	賛成(人)	古家昌和	田代勸	杉野公彦	宮崎広子	末若憲治	井上正宏	案浦兼敏	鞭馬直澄	川口善之	福永正治	田我純治	久我芳枝	本田秀隆	山脇和寿	安藤弘基	小池欠	
61	令和4年度一般会計補正予算(第3回)	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠
62	和解及び損害賠償の額を定めること (介護認定調査時の物損)	可決	14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

○⇒賛成 ●⇒反対 一⇒退席 欠⇒欠席

総務建設常任委員会

市制移行に向けた取り組みを視察

実施日 令和4年10月19日・20日

参加人数 8名(内訳:議員7名・職員1名)

視察先および
研修先 千葉県大網白里市
総務省 内閣府

人口5万人を目前にし、市制移行に向けた取り組みの調査・研究のため、10月19日に千葉県大網白里市、10月20日は衆議院議員会館にて総務省自治行政局市町村課・交付税課、内閣府地方創生推進事務局より説明を受けました。

大網白里市では、市制を敷くことで自治体としての成長が期待でき、成長することでこれまで以上に質の高い行政サービスを提供し、魅力あるまちづくりが期待できるなどの説明がありました。また千葉県では3分の2の自治体が市となっており、情報交換や交流、提携などが増えるというメリットがあるとのことでした。

2日目の研修では、はじめに総務省自治行政局市町村課から、市制施行に向けた手続き、市と町の相違、市になるための要件などについて、交付税課からは地方交付税等の交付額の変化などについて、それぞれ説明を受けました。

市制施行に伴う財政支援はなく、交付税については福祉事務所の設置経費など新たに増額となりますが、その他は今までとは大きくは変わらないとのことでした。

また、内閣府地方創生推進事務局からは、国家戦略特区制度による規制改革について説明を受けました。

市町村の規模は関係なく、個人・事業者でも提案が可能で、県を通さず直接提出でき、実現している規制改革はそれぞれの地域の実情に応じての事例が多く、今後の市制を見据えて併せて取り組むことも必要と思われます。

今回の視察研修では、今後市制施行の要件を満たすためには一つ一つ達成していくことが必要であり、市制施行が町から市への通過点でなく、町民の意識の高揚、市制施行のメリットを活かす中長期的な戦略が必要です。

市制施行は最終的に議会での議決が必要であることをふまえ、これからも議論を重ねていきます。



文教厚生常任委員会

公共施設体育館空調システムの研修会を実施

実施日 令和4年10月13日

参加人数 10名(内訳:議員7名・職員3名)

研修場所 粕屋町役場3階31会議室

近年、地球温暖化の影響で猛暑日が続く、熱中症リスクが高まる中、体育館での体育授業や集会行事などを行うことが難しく、また学校体育館は地域の避難所に指定されており、空調設備の整備をすることは急がれます。

そこで、公共施設体育館空調システムの一つである輻射式パネルによる冷暖房機器を体育館に設置する効果について研修を受けました。



主な説明や課題

- ・輻射式パネルというのは、冷水や温水などが流れる配管を張り巡らせて、空調効果を生み出すパネルのことで、風も起こらず建物の空間全体を冷やしたり暖めたりすることができます。また、電力消費量も少なく抑えることができます。
- ・空調機と併用した場合や場所の広さや使う目的によりその組み合わせ方が変わります。
- ・メリットは、風が起こらないのでバドミントンのような競技に影響が少ないことや、電気代のコストを削減できることなどがあげられます。
- ・デメリットは、冷暖房の効果が出るまでにある程度の時間がかかることや、体育館の配置によっては壁側に設置スペースが必要なことです。

子どもが触った時の危険性や、ほかのエコ施設である太陽光パネルとの併用や実際の導入事例などについて質問をしました。



体育施設での輻射式パネル設置事例

議会運営委員会

議会基本条例の見直しに向けた検証実施について視察を実施

実施日 令和4年11月17日・18日

参加人数 8名(内訳:議員7名・職員1名)

視察先 岐阜県下呂市・長野県駒ケ根市

粕屋町では平成26年度に議会基本条例を施行し、町民に開かれた議会をめざし、議会報告会など様々な取り組みを進めてきました。当委員会では、今後、評価・検証や見直しの実践を進めていくために、先進的に取り組みを進められている下呂市、駒ケ根市を視察しました。



下呂市では、外部有識者にアドバイザーとして参画していただき、令和2年度に議会基本条例制定の取り組みを進め、

「できることから一歩ずつ改革を積み重ねていく」ことを基本的姿勢とし、令和3年4月に施行しています。また、制定から1年しか経っていないにもかかわらず、「条例制定はゴールではなく、変革の第1歩」と位置づけ、早くも今年度評価・検証作業に取り組まれています。

駒ケ根市では、平成26年に議会基本条例が制定されましたが、これまで評価・検証は行われたことがありませんでした。このことに議会機能向上推進委員長が気付かれ、令和3年度に評価・検証を実施され、条例そのものの見直しについては今年度実施されているとのこと。駒ケ根市の特筆すべき点は、この作業が議員のみで行われ、評価については全議員が実施し、その後会派ごとでの議論を経て、最終的なまとめを議会機能向上委員会において行っているということです。

どちらの議会も、議員が積極的にできることから取り組むという姿勢であり、自治体規模、議員数から見ても非常に参考となる事例と感じました。

粕屋町議会としても、より開かれた議会としていくためには、議員全員がこの条例に基づく改革を実践していくことが必要であり、まずは現在の条例の評価・検証を進め、時代に即した条例にすることが必要です。

当議会としても、次年度には条例の見直しについて具体的作業を行えるように、今年度中に評価・検証の作業を進めます。

議会広報常任委員会

広報広聴の強化について学ぶため町村議会広報研修会へ参加

実施日 令和4年10月21日

参加人数 9名(内訳:議員8名・職員1名)

研修場所 博多サンヒルズホテル

テーマ 一部 住民理解と共感をめざして
これからの議会広報を考える(PUBLIC RELATION)
二部 議会広報クリニック

講師 エディター、広報アナリスト よしむら きよし 吉村 潔 氏

公益社団法人 日本広報協会 所属 全国広報コンクール広報紙部門・写真部門審査委員
著書論文『実践・広報紙づくり』

ウェブ・SNSの利用が幅広い世代に浸透し始めた昨今、コロナ禍も相まって、多くの自治体で普及した議会のインターネット配信(中継)やSNSの特性を生かした効果的な情報発信の手法を中心に、ICT技術と従来の紙面広報の両方の媒体を相互活用し「つなぐ」・「視る」・「聴く」を意識した「語りかける議会」を創っていくことの大切さを学びました。

二部では、粕屋町の他、9町村の各議会広報紙がクリニック(専門家による客観的な評価と具体的アドバイス)を受けました。

多くの住民の目に止まる表紙の被写体選びのコツ、ちょっとした工夫で大きく印象が変わる表現テクニック、バランスの良いデザインの手法など、実際に発行された広報紙を例にわかりやすい解説を交え評価していただきました。

粕屋町議会広報紙の評価は・・・

- ①多様な世代が違和感なく手にできる広報紙です。
- ②コンパクトな情報伝達を意識し、実践されています。
- ③視覚中心、文章重視のメリハリを。
- ④定例会以外の情報のさらなる充実を行いましょう。
- ⑤住民参加の広報をさらに強化を。

と、一定の期待が持てるものでした。

今回の研修で学んだことを活用・実践し、さらに多くの方が「もっと知りたく・もっと読みたくなる広報」を目指し、「身近に感じる議会だより」をお届けしていきたいと思えます。



町政を問う 一般質問

令和4年12月
5日～7日実施

一般質問は定例会で行われ、粕屋町では会期の初めに行っています。議員は町政全般にわたって、町長など執行機関の考えを問いただします。

質問の内容は事前に通告し、持ち時間60分の範囲で1問1答*で行います。*質問、答弁を理解するまで繰り返す方法

記事は会議録に基づき、議員個々の原稿を議員責任の下に掲載しております。

また写真なども議員提出によるものを掲載しています。

詳細は会議録【ホームページ・議会事務局・粕屋フォーラム(図書館)に置く】をご参照ください。

P10 田川 正治 議員

- 国保税や介護保険料の負担軽減は
- 町立幼保連携型こども園の建設は

P11 古家 昌和 議員

- 大人への自転車安全運転の取り組みは
- HPVワクチン接種の現状は

P11 本田 芳枝 議員

- 統一地方選に向けた新たな取り組みは
- 校則への子どもの意見表明の場は

P12 安藤 和寿 議員

- 町のマイナンバーカード交付率は

P12 福永 善之 議員

- 指名競争入札見直す必要があるのでは

P13 宮崎 広子 議員

- 課を横断した妊産婦へのサポートは

P13 川口 晃 議員

- 学校給食費無償化は実現できないか
- 補聴器購入・調整の上乗せ助成は

P14 久我 純治 議員

- 安心安全のため水路に蓋をし歩道に

P14 案浦 兼敏 議員

- 令和5年度の予算編成方針は
- 意欲的な取り組みを誉める職場文化に

P15 井上 正宏 議員

- 香椎線長者原駅付近の排水溝の改善は

P15 山脇 秀隆 議員

- 所信表明の市制に向かう考え方は

掲載は
質問順と
しています。

田川 正治 議員

動画はコチラから▶



田川
介護保険で、障がい者控除に認定されれば、所得税1人27万円、住民税26万円

介護福祉課長
保険料は3年ごとの事業計画策定の際に算定し、住民の皆さまの負担軽減のために平成18年度以降は、毎年基金を活用して保険料の増加抑制に努めています。総合事業の自己負担は、サービス事業費の所得に応じて1割から3割負担です。

田川
基金を活用した介護保険料や利用料の負担軽減と総合事業による支援は。

町長
全国知事会が要望されたことに立脚して、今後の検討課題とします。

総合窓口課長
お子様にかかる均等割は、負担が大きいことを考慮して今後の検討課題です。

田川
国民健康保険の多子世帯への均等割の無料化や減免は。

町長
制度の改正や改善は勉強したい

国保税や介護保険料の負担軽減は

住民福祉部長
大川・西幼稚園の年少組が定員に達していないので、中央幼稚園での3年保育の予定はありません。

町長
町立幼稚園・保育所未来プロジェクト会議、子ども子育て会議等で、幼稚園・保育所の統廃合を含めて検討しています。専門家会議で素案を作成し、議会に示した上で今後の再編整備を行っていきます。

田川
仲原保育所建て替えと併せ、町立幼保連携型こども園建設と中央幼稚園の3年保育の実施は。

町長
幼稚園・保育所の統廃合含め検討

町立幼保連携型こども園の建設は

介護福祉課長
高齢者の交付数は平成21年から46名です。個人宛に送付する認定結果通知にチラシを同封しています。

田川
の控除が適用できます。認定数とその周知徹底は。

古家 昌和 議員

◀ 動画はコチラから



大人への自転車 安全運転の取り組みは

総務部長

粕屋警察署が 啓発活動を実施

古家 自転車安全教育指導者講習会・交通安全教育指導者研修会を受講した職員
の人数は。

総務部長

古家 包括協定を結んだ企業との自転車に関する交通安全の取り組みは。

総務部長

古家 自転車に特化した取り組みは現在までありません。

古家

町内で令和2・3年度に自転車関連の死亡事故が発生しています。自転車安全教育の普及に有効と考える取り組みは。

総務部長

道路交通法改正による自転車の安全利用について、広報紙に掲載予定です。町のホームページやSNSなどを活用して啓発に努めたいと考えます。

HPVワクチン 接種の現状は

健康づくり課長

令和4年度から 積極接種勧奨を再開

古家 HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)接種助成対象者の接種率は。

健康づくり課長

令和4年9月現在、1回目5.5%・2回目4.8%、3回目4.3%です。

古家

小・中学校でのHPVワクチン接種の啓発は。

学校教育課長

現在学習啓発はありません。

古家

高い効果が期待できる9価HPVワクチン接種の助成は。

健康づくり課長

実施に向けた規則等の改正が予定されています。国や県の動向を注視し、定期接種化を進めます。

古家

男性へのHPVワクチン接種の助成は。

健康づくり課長

国や他自治体等を参考に検討したいと思います。

本田 芳枝 議員

◀ 動画はコチラから



統一地方選に向けた 新たな取り組みは

総務課長

広報・ホームページを より見やすくします

本田 選挙の投票における障がい者への合理的配慮について、4月の統一地方選挙に向けた新たな取り組みは。

総務課長

広報・ホームページをより見やすくします。そのほかに障がいのある方だけに限ったことではありませんが、投票所入場券に選挙公報にアクセスできるQRコードの掲載を検討中、またイオンモール福岡での期日前投票所の土・日開設をできる方向で調整中です。バリアフリー化に関しては、どなたでも利用しやすい投票所の環境整備を図っていきたいと思います。

校則への子どもの 意見表明の場は

学校教育課長

表明する場所・ 機会もあります

令和4年6月に「こども

本田 基本法」が成立しました。子どもの意見表明をする機会、社会活動に参画する機会が確保されるということから、中学校の校則への取り組みは。

学校教育課長

中学校においては、現在校則の見直しを行っています。子どもたちの意見を表明する場所・機会もあります。先生方もそれらを参考にしながら見直しに取り組んでいます。

本田

令和4年8月に文科省が発表した「生徒指導提要改訂版」で、校則のできた背景やホームページに公表する流れを教育委員会は提示する必要がありますと知りました。公表の基準や方法を、ガイドラインを決めて教育委員会は提示すべきと思いますが、その取り組みは。

教育長

昨年度からPTAを巻き込み、今年度は子どもたちを交えての見直しを新年度に向けて現在進めています。

その他の 質問

● パートナーシップ・ファミリースhip制度導入後の啓発は

安藤 和寿 議員

動画はコチラから▶



庁舎内マイナンバー特設コーナー

町のマイナンバー カード交付率は

総合窓口課長

11月末には
交付率56.8%の見込み

マイナンバーカード普及のため、カードの取得・健康保険証・公金受取口座とのひもづけに応じて、最大2万円相当のポイントが付与されていますが、当町の状況と今後の町独自の利活用は。

町長

付与されるマイナンバーポイントを、カード普及の推進に有効的に活用するため、スマートフォンのお助け窓口で、マイナンバー付与について説明しながらDX化を図っています。

安藤

町長

町内で消費し、産業発展に寄与してもらうことは基本的な流れでは。しかし現在のシステムでは不可能です。
今後の検討材料とします。

安藤

給付金・一般商品券事業が公金口座に給付されると、町外で使用されることが多くなつていきます。町独自のキャッシュレス決済ができる基盤整備が必要では。

総合窓口課長

マイナンバー制度自体を理解されていない方も多く、公金口座がひもづくことを心配されているのでは。
コロナによる給付金を支給する際など、口座のひもづけによりスムーズに支給できることを理解してもらえようとして説明しています。

安藤

交付率と比較し、健康保険証のひもづけ割合は22.1%、公金受取口座ひもづけ割合も20.7%と少ないが。

福永 善之 議員

動画はコチラから▶



業者指名のあり方を 見直す必要があるのでは

副町長

町にそのような意見はあがっていません

6月定例会に3件、7月臨時会に1件、9月定例会に1件、計6件の指名競争入札がありました。要綱には「指名が特定の業者に偏らないようにしなければならぬ」と明記されていますが。

総務課長

町は地場産業育成の観点から、地元企業を優先して指名しています。

福永

地元企業とは。

総務課長

県内に本店・支店を有する事業者のことです。

福永

町は入札前に予定価格を事前公表しています。6件の入札には予定価格で応じた企業がありますが、このような応札が適切と思えますか。

福永

6件の入札は約2か月の間に行われました。入札参加登録者が100社あるにもかかわらず、なぜ8社のみ指名を与えたのか。指名入札は発注側の町の専権事項です。入札に疑義が生じないよう公平な業者の選定、透明な入札の施行が担保できれば、経済性に結びつくのではと考えます。

総務課長

予定価格は適正に算定し、公表しており、同額を含む予定価格以下であれば入札として成立するため問題ないと考えます。

約2か月の間に行われた指名競争入札

建設工事場所	落札価格(千円)	落札率(%)
中央保育所	783,900	99.10
粕屋中央小学校	463,540	98.88
仲原小学校	247,500	98.04
粕屋中央小学校	479,500	98.85
粕屋中学校	635,250	98.85
粕屋町総合体育館(かすやドーム)	787,919	99.91

宮崎 広子 議員

◀ 動画はコチラから



**課を横断した
妊産婦へのサポートは**

町長
様々なサポートを
総合的に考えたい

宮崎
妊産婦は、産む決断をした時から日常生活に大きな変化を伴います。国は伴走型の支援を方針とし、妊娠期に5万円、産後5万円分のサポートを考えています。町の考えは。

健康づくり課長
現在国が推奨するクーポン券は、使用用途が限られており、経済的支援の内容は自分たちで選択したいと考える方も多いことから、現金での支給を考えています。

宮崎
妊産婦が子育てする時、頼りなさや誰かに相談したいなどの不安にかられます。これに寄り添い解決するサポートを考えてほしいのです。診察に行く時のタクシー券の配布、一時預かりのサポート、家を出られないお母さんの家事サポートなどを行っている自治体もある。

宮崎
ります。健康づくり課だけでなく、他の課を横断しながら知恵を絞ってサポートしてほしいと思います。町長の考えは。

町長
現在も様々なサポート事業がありますが、その充実とともに今後総合的に考えていきます。

宮崎
母子手帳の電子化や、スマホで情報提供でき、健診やワクチン接種のスケジュール管理もできるアプリの使用は。

健康づくり課長
母子手帳は、紙ベースで従来のものを交付したいと考えています。電子化については、マイナポータル上で、妊婦健康診査、乳幼児健康診査、予防接種の接種記録を確認できます。アプリについては、転出されると使えないなどの問題もあり、導入する予定はありません。

その他の質問
● 特別支援学級の実態とその支援は

川口 晃 議員

◀ 動画はコチラから



**学校給食費無償化は
実現できないか**

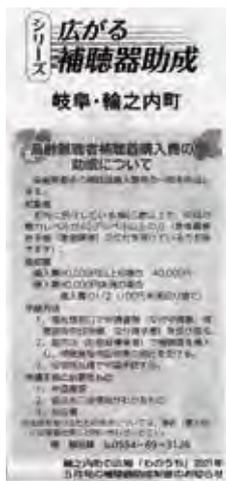
町長
今後の検討課題です

川口
小・中学校とも、学校給食費を無償化しているのは、全国で266自治体で、小学校のみは6自治体で中学校のみは11自治体です。また、保護者負担を減らすため半額補助、第三子から無償、中二のみ無償などがあります。さらに、期間限定で実施し、来年度も継続する自治体もあります。

町長
無償化の予算は自治体の規模にかかわらず総予算の大体1%未満です。学校給食費無償化は若い層の人口取り込み策とも言えますが、予算の1%ということですが、担当の方で計算したところ、年間で2億5300万円ほどの経費がかかってきます。小さくない、即座に対応できる金額ではないと思います。今後の検討課題です。

**補聴器購入・
調整の上乗せ助成は**

介護福祉課長
令和5年度の
当初予算に計上したい



川口
補聴器のアフターケアの助成については、所得制限が無く、また医師の診断書も不要で申請しやすい自治体もあります。

介護福祉課長
町の修理調整などの助成は、障害者手帳に該当されない方には県の補助事業がありますが、補聴器購入のみで、自己負担が3分の1、対象年齢が18歳未満です。乳幼児の補聴器管理の難しさや、修理の多い年代を考慮し、現在は助成の対象とならない修理の部分を、令和5年度の当初予算に計上したいと考えます。

補正予算ピックアップ

臨時会

委員会レポート

委員会レポート

一般質問



久我 純治 議員

動画はコチラから▶



安心・安全のため 水路に蓋をし歩道に

都市政策部長

最重要な冠水地点として注視したい

町長の公約に安心・安全で住みよい粕屋町とあります。人の命は地球より重いです。長者原下区公民館は子どもたちの遊び場です。何か問題があつてからでは遅すぎるのでは。

都市政策部長

ゲリラ豪雨で当該水路が一時的に冠水状況にあることは把握しています。

久我

町民憲章に安心して暮らせる住みよい町づくりとあります。下区公民館は災害時の避難場所であり危険では。

都市政策部長

水路に蓋をすれば上流側で冠水、水路への流れ込みが減少し、頻繁に道路側に水が滞留することが懸念されます。

工事費用の問題もあり、

蓋をかけることは考えていません。

フェンスの高さが80cm、その下に30cmの隙間があります。子どもが乗り越えて水路に入っていますが、町の冠水対策の考えは。

過去に上流部にバイパス水路を設置、農業用堰板構造変更などを行いました。水田が減り冠水しやすくなったと考えられます。改修できる部分があれば検討し、最重要な冠水地点として注視していきます。

都市政策部長

不安な場所を後世に残したくない。新聞で報道されたある町長の言葉です。「法令違反を起こそうが、私は町民の命を守ることを最優先に考えている」

久我

冠水は水路の構造が原因の一つです。

現地を確認します。

不安な場所を後世に残したくない。新聞で報道されたある町長の言葉です。「法令違反を起こそうが、私は町民の命を守ることを最優先に考えている」

久我

不安な場所を後世に残したくない。新聞で報道されたある町長の言葉です。「法令違反を起こそうが、私は町民の命を守ることを最優先に考えている」



案浦 兼敏 議員

動画はコチラから▶



令和5年度の 予算編成方針は

町長

粕屋町のさらなる発展を目指します

令和5年度予算編成方針の基本的な考え方で、前年度と変わった点は。

粕屋町のさらなる発展を目指した予算編成ということで、自治体のDX化や脱炭素化、企業誘致を全庁挙げて推進し、地域の発展と好循環を目指した積極的な予算編成にしたいと考えます。

案浦

公約事項への取り組みは。

かすやこども館は、子どもが安心して自分らしく過ごせる居場所であるとともに、育児不安や不登校、児童虐待など、子どもに関する様々な相談と家庭への総合支援を行っています。多くの来館者で賑わっていますが、こども館から離れた校区の利用者が少ないようです。そのため粕屋町に住むすべての子どもが平等に支援を受けられるよう、

第二こども館の設置場所・規模等を検討しています。ふれあいバスは、コロナ禍前の利用状況に戻りつつありますが、不便な点があるとの声も聞いています。今後、運転免許証の返納など、高齢者の交通安全が危惧されるため、コミュニティバス化は喫緊の課題です。今後の地域公共交通の構築を総合的に検討するための費用を予算に計上したいと考えます。

町長

意欲的な取り組みを
誉める職場文化に
積極的な提案のため
には必要

町長

優秀な政策提案や町政への顕著な業績を挙げた職員・職場への表彰制度が、必要ではないですか。

案浦

職員の意識高揚や積極的な提案のためには、表彰制度が必要と思います。今後、具体的に考えたいと思います。

町長

職員の意識高揚や積極的な提案のためには、表彰制度が必要と思います。今後、具体的に考えたいと思います。

その他の質問

●道路の通り名(愛称)は

井上 正宏 議員

◀ 動画はコチラから



香椎線長者原駅付近の排水溝の改善は

町長

所有者がJR九州のため対応ができない

井上
令和4年11月14日排水溝の改善について、要望書が町に提出されていますが町長の見解は。

町長
町としても、積極的にJR九州側には状況を詳しく伝えており、必要に応じて連携、協力していく立場と私は考えます。

井上
排水溝改善について、道路環境整備課はJR九州とどのような対応をしてみましたか。

道路環境整備課長
近隣住民からの問い合わせや要望書があるたび、その内容をJR九州側に伝えています。



事故が起きた排水溝

井上
令和4年11月18日に、町内在住の高齢者が自転車の操作を誤り排水溝へ自転車とともに転落し、けがをすする事案が発生しています。どう考えますか。

町長
転落の原因が排水溝であれば、当然その所有者が対策を講じる必要があります。

井上
JR九州の所有地に町は町道認定をしているのではないですか。

都市政策部長
JR九州から令和5年度に、側溝の予算計上をするとの回答を受けています。また町としても協力して行きたいと考えます。

井上
事故が起きていますので、一日でも早い改善をしていただきたいと思います。

町長
JR九州は、迅速的な対応を町の要望に応えながら行っていたかと思えます。

山脇 秀隆 議員

◀ 動画はコチラから



所信表明の市制に向かう考え方は

町長

子育て支援をどう真ん中に考える

山脇
子育て応援都市を目指す目的は。

町長
今後も継続して町が発展していくためには、地域全体で子どもを育てていくことが不可欠です。政策のど真ん中においた、住んでよかった、住み続けたいと思う町づくりを行うためです。

山脇
コミュニティバス化の検討を打ち出しましたが、市制への条件整備なのですか。

町長
市制に向けての最重要な施策と考えます。

山脇
九大農場跡地の開発における、企業立地や住宅開発を戦略的に展開すると思いますが。

町長
町の西のゾーンは福岡市

からの玄関口であり、先進的な企業誘致、ICT、医薬関係の企業についても考えるべきと思っています。

町長
また、大型商業地域も考えながら、まちづくりは地域ごとにゾーニングして進めたいと思います。九州大学と一緒に戦略的な用地の活用を調査検討しています。

山脇
地域共生社会を目指すことを示されましたが。

町長
行政だけでなく、地域住民など、多様な主体が協働で支えあう安心・安全社会の実現を目指したいと考えています。

山脇
市制に向けた情報提供を行い、住民意識調査、意見交換など町の機運を高めています。

町長
市制に関する項目を追加した住民意識調査を含め、広報やSNSを使い、市制に関する情報提供など、将来を考えていくための機運を高めていきます。

交流ひろば

～長者原下区3年ぶりのもちつき大会～

12月11日(日曜日)、地域住民の交流を目的とした、子どもたちにも人気の風物詩「もちつき大会」がシニアクラブ福寿会のお手伝いをいただきながら、3年ぶりに開催されました。

前日より役員の方々が例年より少なめの約40kgのもち米を水につけ、薪やもちつき道具の準備を整えられていました。

もち米を蒸すために薪で釜の湯を沸かし、蒸籠で蒸したもち米をもちつき機で八分ほどついた後、もちを石臼に移し、子どもたちが杵でつくもちつきを体験していました。その後、もちをテーブルに取り上げ、もち切機に入れ、小さく押し出した丸もちを保護者やボランティアさんたちが手で形を整えて餅のできあがりです。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、必ず親子同伴での参加ということもあり、例年に比べ参加人数は少なかったものの、子ども自らが重い杵を持ち、地域の方に助けをもらいながら自分の力でもちをつくることは初めての体験だったようで、非日常体験に感動し大喜びの様子でした。



参加者の話

コロナ禍以前は塩ゴマをかけたおこね飯、だいこんおろしやきな粉をまぶした餅など、その場でなければ食べられない多種多彩なお餅が振る舞われていておなかいっぱいになっていました。

もち米を蒸す時に釜が焦げ付かないように入れた大根を、最後に田楽みそにつけて食べるのが大好きでした。

編集後記

もちつき大会当日は、早朝から小雨がぱらついていましたが、始まる頃には天気も回復し、公民館には待ちわびた子どもたちの元気な声が響き渡っていました。コロナ禍が早期に収束し、以前のように多くの住民が集い、雑談を交えながらつきたてお餅をおなかいっぱい頬張れる日がくることを切に願います。(久)

お知らせ

次回3月議会は...

2月24日(金)
9:30 開始予定
2月27日(月)から
9:30 一般質問予定

議会だよりは、粕屋町議会ホームページにも掲載しております。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。